

報告1 令和元年度教員向け人材育成講座の実施結果について

1 概要

- (1) 日 時 令和元年7月30日(火) 13:30~16:00
- (2) 場 所 馬堀自然教育園
- (3) 参加者 参加者21名(申込者23名)
小学校教諭21名
教育委員会事務局学校教育部教育指導課指導主事 1名
環境企画課職員 3名
- (4) 講 師 自然・人文博物館学芸員
地学担当 柴田健一郎、昆虫担当 内船俊樹、
植物担当 等々力政彦
- (5) 内 容 教員向け環境学習講座として、馬堀自然教育園で主に地学・昆虫・
植物について、講義とフィールドワークを交えて学ぶ。

2 講座概略

- (1) 講義 (学習棟)
馬堀自然教育園の歴史と教育園内で見られる昆虫についてパワーポイントを使用しながら解説
- (2) フィールドワーク (教育園内)
学芸員の解説を聞きながら、教育園内一周フィールドワーク
- (3) 講義 (学習棟)
教育園内の地層と植物についてパワーポイントを使用しながら解説
- (4) 質疑応答、まとめ、アンケート記入

3 参加者の意見(抜粋)

- ・フィールドワークで実際に見て、学習棟に戻ってからの学習があり、身近な自然について知る機会となりありがたかった
- ・今後の授業で専門性のある方に協力していただけることが分かった
- ・横須賀の植物や地層、外来生物について詳しく学べたことが良かった
- ・自然教育園という環境そのものを知ることにつながりました
- ・それぞれ別の分野の学芸員さんが詳しくお話してくださったので、それぞれのことをたいへん興味深く伺うことができました

4 考察

教育研究所との連携研修として、前年と同様に「環境学習講座」を教育委員会の夏季研修の1つに入れていただき、定員30名のところ21名の参加があった。

実施後アンケートにもあるように好評であった。

馬堀自然教育園に初めて来たという教員がほとんどであり、フィールドワークを通じて園内の自然環境を実際に知ることができたので、特に近隣の学校の教員には、今後の課外活動の場の選択肢の1つとして考えていただくきっかけになったのではないかと思います。まとめの時間では、学芸員を学校に派遣できるという話にもなり、教員と学芸員のつながりをつくる機会となったのではないかと思います。

[写 真]



(写真1) 講義の様子



(写真2) フィールドワークの様子